福井市業務委託成績採点基準　(建築設計関係)

１．評定方法

評定者は、評定を行おうとする委託業務（以下「対象業務」という。）について、別添の採点表により評定を行うものとする。(評価項目、評価の視点及び評価細目の変更、追加、削除並びに配点の変更は行わない。)

２．評価項目

評価項目は、全ての業務に共通して必要となる基礎的な内容に関する評価項目（以下「基礎項目」という。）及び、創意工夫に関する評価項目（以下「創意工夫項目」という。）とし、評価項目の配点は別表－１のとおりとする。

別表―1　評価項目及び配点

項目	評価分類	評価項目	評価の視点	配点	
				第一・二次評定者の計(配点比率は別表―2による)	第三次評定者
基礎項目	業務の実施能力	業務実施体制	実施体制	1	―
		管理技術者の能力(業務全体に関する評価)	業務の全体把握	0.5	―
			工程管理（全体)	0.5	―
			取組姿勢、責任感の強さ	0.5	―
			説明力(ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ力)、協調性	0.5	―
		主任担当技術者の能力(担当分野に関する評価)	他分野との調整	0.5	―
			工程管理	0.5	―
			取組み姿勢、責任感の強さ	0.5	―
			説明力(ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ力)、協調性	0.5	―
	業務の実施状況	業務履行中の説明資料(途中成果物)に関する評価	記載の程度	2	―
			途中成果物の内容	2	―
		調整及び説明、対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録	1	―
			指示、協議事項への対応	1	―
		与条件の理解、業務への反映(設計提案)	与条件の理解、円滑な業務遂行、技術的検討	1.5	―
			仕様書、基準類の理解	1.5	―
			施工に関する一般的な知識	1	―
	業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度	4	4
			成果品の内容(積算業務、診断業務では評価しない)	4	4
			資料等の整理、指示、協議事項への対応	―	4
小計				23	12
合計				35	

＊積算業務、診断業務を単独で発注する場合は、小計、合計が異なる。

創意工夫項目	業務の実施状況	調整及び説明、対応の迅速性	設計提案等の説明(ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ力)	1	―
		提案力、業務執行技術力	創意工夫、積極的な提案	1.5	―
			専門的な知識、法令等の理解、特定行政庁等との調整	1.5	―
	業務目的の達成度	課題への対応	物理的条件、社会的条件	2	2
			要望、コスト	2	2
小計				8	4
合計				12	

３．評定点の種別

評定点の種別は、業務評定点（総合点及び基礎点）及び管理技術者評定点とし、各評定点の内容は以下による。ただし、創意工夫の余地の小さい業務については、創意工夫項目の採点を行わないものとし、総合点と基礎点は同一の点数になる。

① 総合点：基礎項目及び創意工夫項目の得点から求められる評定点（「瑕疵修補又は損害賠償等による減点」が行われた場合は、当該点数を減ずる。）

② 基礎点：基礎項目の得点から求められる評定点

③ 管理技術者評定点：管理技術者に係る評価項目に対する得点から求められる評定点

ここに、対象業務に関する創意工夫の余地の大小の判断基準は次による。

（創意工夫の余地の大小の判断基準）

創意工夫の余地の大きい業務は、次のいずれかを満たす業務とし、創意工夫の余地の小さい業務は、当該業務以外の業務とする。

ｱ．一級建築士でなければできない設計、もしくは一級建築士または二級建築士でなければできない設計（設計の一部のみを発注する場合を除く）

ｲ．上記以外の業務のうち、業務の内容が高度な知識又は高度な構想力もしくは応用力を必要とする業務

４．各評定者の採点

第一次評定者、第二次評定者及び第三次評定者の採点は、次によるものとする。

① 一次評定者（監督職員）は、採点表の①（各分野）により採点を行う。

② 二次評定者（担当課長）は、採点表の②により採点を行う。

③ 三次評定者（検査職員）は、採点表の③（各分野）により採点を行う。

５．評定点の算出

採点を行った各評定者の採点結果に基づき、次の方法により評定点を算出する。

① 業務内容に応じて、別表―２により、各分野間の監督職員の配点比率および監督職員と課長間の配点比率を設定する。

② 各評定者の項目毎の配点は、別表－１の評価項目毎の配点に上記①で設定した配点比率を乗

じて算出する。

③ 各評定者の採点結果は、上記②の配点に４の採点表から得られた得点率を乗じた値を合計して算出する。

④ 基礎点：基礎項目に対する評定者全員の採点結果の合計値を、６５点（標準点）に加算して算出する。ただし、積算業務や診断業務を単独で発注する場合には、当該合計値を３５点満点に換算した値を、６５点（標準点）に加算して算出する。

⑤ 総合点：創意工夫項目及び基礎項目に対する評定者全員の採点結果の合計値を３５点満点に換算した値を、６５点（標準点）に加算して算出する。

⑥ 管理技術者の評定点：管理技術者に係る評価項目に対する評定者全員の採点結果の合計値を３５点満点に換算した値を、６５点（標準点）に加算して算出する。

⑦ 基礎点、総合点、管理技術者の評定点は、小数点以下四捨五入した整数とする。

【参考：評定点の算出式】

$$(\text{評定点}) = (\text{対象項目に対する採点結果の合計値}) \times \frac{35\text{点}}{\text{対象項目に対する配点の合計値（満点）}} + 65\text{点(標準点)}$$

表－2　発注形式による配点比率

業務内容			第一次評定者の分野	第一次評定者（各分野）（第三次評定者の比率も同じとする）							第二次評定者
				建築			電気設備		機械設備		
				意匠	構造	積算	電気設備	積算	機械設備	積算	
1 創意工夫の余地の大きい業務	A	設計・積算込み（建築・設備分野）	第一次・第二次評定者の比率	0.70							0.30
			各分野の比率（第一次評定者）	0.300	0.150	0.100	0.150	0.075	0.150	0.075	—
	B	〃（建築分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.55							0.45
			各分野の比率（第一次評定者）	0.545	0.275	0.180	—	—	—	—	—
	C-1	〃（設備分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.65							0.35
			各分野の比率（第一次評定者）	—	—	—	0.335	0.165	0.335	0.165	—
	C-2	〃（電気設備のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.65							0.35
			各分野の比率（第一次評定者）	—	—	—	0.670	0.330	—	—	—
	C-3	〃（機械設備のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.65							0.35
			各分野の比率（第一次評定者）	—	—	—	—	—	0.670	0.330	—
	D	〃（構造分野除く）	第一次・第二次評定者の比率	0.65							0.35
			各分野の比率（第一次評定者）	0.350	—	0.120	0.175	0.090	0.175	0.090	—
	E-1	〃（意匠分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.45							0.55
			各分野の比率（第一次評定者）	0.750	—	0.250	—	—	—	—	—
	E-2	〃（構造分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.45							0.55
			各分野の比率（第一次評定者）	—	0.750	0.250	—	—	—	—	—
	F	改修工事（構造分野除く）	第一次・第二次評定者の比率	0.70							0.30
			各分野の比率（第一次評定者）	0.300	—	0.100	0.200	0.100	0.200	0.100	—
	G	設計のみ（建築・設備分野）	第一次・第二次評定者の比率	0.65							0.35
			各分野の比率（第一次評定者）	0.400	0.200	—	0.200	—	0.200	—	—
	H	〃（構造分野除く）	第一次・第二次評定者の比率	0.60							0.40
			各分野の比率（第一次評定者）	0.500	—	—	0.250	—	0.250	—	—
	I	〃（建築分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.50							0.50
			各分野の比率（第一次評定者）	0.665	0.335	—	—	—	—	—	—
2 創意工夫の余地の小さい業務	a	設計・積算込み（建築・設備分野）	第一次・第二次評定者の比率	0.75							0.25
			各分野の比率（第一次評定者）	0.300	0.150	0.100	0.150	0.075	0.150	0,075	—
	b	〃（建築分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.60							0.40
			各分野の比率（第一次評定者）	0.545	0.275	0.180	—	—	—	—	—
	c-1	〃（設備分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.70							0.30
			各分野の比率（第一次評定者）	—	—	—	0.335	0.165	0.335	0.165	—
	c-2	〃（電気設備のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.70							0.30
			各分野の比率（第一次評定者）	—	—	—	0.670	0.330	—	—	—
	c-3	〃（機械設備のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.70							0.30
			各分野の比率（第一次評定者）	—	—	—	—	—	0.670	0.330	—
	d	〃（構造分野除く）	第一次・第二次評定者の比率	0.70							0.30
			各分野の比率（第一次評定者）	0.350	—	0.120	0.175	0.090	0.175	0.090	—
	e-1	〃（意匠分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.55							0.45
			各分野の比率（第一次評定者）	0.750	—	0.250	—	—	—	—	—
	e-1	〃（構造分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.55							0.45
			各分野の比率（第一次評定者）	—	0.750	0.250	—	—	—	—	—
	G	設計のみ（建築・設備分野）	第一次・第二次評定者の比率	0.70							0.30
			各分野の比率（第一次評定者）	0.400	0.200	—	0.200	—	0.200	—	—
	h	〃（構造分野のぞく）	第一次・第二次評定者の比率	0.65							0.35
			各分野の比率（第一次評定者）	0.500	—	—	0.250	—	0.250	—	—
	g	〃（建築分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.60							0.40
			各分野の比率（第一次評定者）	0.665	0.335	—	—	—	—	—	—
	J	〃（構造分野のみ）	第一次・第二次評定者の比率	0.60							0.40
			各分野の比率（第一次評定者）		1.000						—

６．減点基準について

減点の評定は減点根拠を明確にし、発注機関内の合意により第二次評定者（②イに該当する場合は、第一次、第二次、第三次評定者）が実施するものとする。

① 業務遂行中の減点

対象業務の履行中に受注者に起因する事故等不適切な事項が発生した場合には、対象業務の評定点（１００点満点換算）に対して、別表－３を参考として１５点まで減点することができる。なお、不適切な事項が複数ある場合には加算して減点することができる。

別表－３ 指名停止等の措置がとられた場合等の減点基準

区　分	口頭注意	文書注意	指名停止 １ヶ月まで	指名停止が １ヶ月を超える
考査点	－3 点	－5 点	－10 点	－15 点

② 業務完了後の減点

ｱ. 対象業務の成果品に、受注者の責任に起因する重大な誤謬・欠陥が存在し、契約書のかし担保条項等に記された手続きに従い、瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合は、当該業務の総合点（100 点満点換算）に対して、別表－４を参考として２０点まで遡って減点することができる。ただし、ここでいう瑕疵修補とは、軽微なミスの修正ではない大幅な修補をいう。

別表－４ 瑕疵修補又は損害賠償が実施された場合の減点基準

区分	瑕疵修補又は損害賠償の実施	故意又は重大な過失により瑕疵修補又は損害賠償の実施
考査点	－10 点	－20 点

ｲ. 上記に該当しないが、業務終了後（対象業務の成果品による工事の施工中又は完成後を含む）に生じた事由が受注者の責任に起因し評定の修正を行う必要があると判断した場合は、その事由をもとに遡って再評定する。

７．この基準は、平成２４ 年４ 月１ 日以降に発注する業務から適用する。

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた □ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した □ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった □ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた □ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた □ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった □ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた □ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小 計			／ ±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する 評価	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった □ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった □ 途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった □ 途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された □ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		設計提案等の説明 (プレゼンテーション)		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 説明資料が準備されていた □ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった □ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった □ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。下段のみチェックしようとすると、ERRORが出る。
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた ☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ☐ 業務の各段階で必要な検討がなされていた ☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた ☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた ☐ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた ☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた ☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた ☐ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた ☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
		創意工夫 積極的な提案		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った ☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた ☐ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた ☐ 提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 特定行政庁等との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた ☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を行った ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
	小 計			／ ±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた ☐ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ☐ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた ☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		課題への対応								
		物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた ☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
	小 計			／ ±100						
合 計				／ 100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた □ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した □ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった □ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた □ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた □ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった □ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた □ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小　計			／　±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する 評価	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった □ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった □ 途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった □ 途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された □ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		設計提案等の説明 (プレゼンテーション)		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 説明資料が準備されていた □ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった □ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった □ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた ☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ☐ 業務の各段階で必要な検討がなされていた ☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた ☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた ☐ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた ☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた ☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた ☐ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた ☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
		創意工夫 積極的な提案		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率 #REF!					☐ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った ☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた ☐ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた ☐ 提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 特定行政庁等との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた ☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を行った ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
	小 計			／ ±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた ☐ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ☐ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた ☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		課題への対応								
		物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた ☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
	小 計			／ ±100						
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた □ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した □ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった □ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた □ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた □ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった □ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた □ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小 計			／ ±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する 評価	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった □ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった □ 途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった □ 途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された □ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた ☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ☐ 業務の各段階で必要な検討がなされていた ☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた ☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた ☐ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた ☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた ☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた ☐ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた ☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
	小 計			／ ±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
	小 計			／ ±100						
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた ☐ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた ☐ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた ☐ 第三者（管理技術者、担当者以外）によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 （業務全体に関する評価）	業務の全体把握		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 業務の目的及び内容を把握していた ☐ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した ☐ 業務の実施状況を把握していた ☐ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった ☐ 必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた ☐ 業務を統轄した ☐ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 （プレゼンテーション力） 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 業務の実施方針等に対する説明がなされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☐ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 （担当分野に関する評価）	他分野との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った ☐ 他の分野との調整はすみやかに行われた ☐ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた ☐ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 当初提出された業務工程表（分野別）には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた ☐ 当初提出された業務工程表（分野別）の計画内容には妥当性があった ☐ 担当分野について必要な工程管理を行った ☐ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 打合せ等に参加した ☐ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた ☐ 担当分野の成果物の取りまとめを行った ☐ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 （プレゼンテーション力） 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた ☐ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった ☐ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた ☐ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
小 計				／ ±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 （途中成果物）に関する評価	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 途中成果物には審査できる最低限の記載（書き込み）があった ☐ 途中成果物には十分な記載（書き込み）があった ☐ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 工程に影響を及ぼすような重大なミス（手戻り、差替え）は無かった ☐ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった ☐ 途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった ☐ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された ☐ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された ☐ 打合せ後に対応（追加資料送付、進行状況連絡等）が図られた ☐ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった ☐ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		設計提案等の説明 （プレゼンテーション）		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率					☐ 説明資料が準備されていた ☐ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった ☐ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった ☐ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた ☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ☐ 業務の各段階で必要な検討がなされていた ☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた ☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた ☐ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた ☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた ☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた ☐ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた ☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
		創意工夫 積極的な提案		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った ☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた ☐ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた ☐ 提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
		専門的な知識、法令等の理解 特定行政庁等との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた ☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を行った ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
	小 計			／ ±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた ☐ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ☐ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた ☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
	課題への対応	物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率					☐ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた ☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
	小 計			／ ±100						
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた □ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者（管理技術者、担当者以外）によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 （業務全体に関する評価）	業務の全体把握		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した □ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった □ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた □ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 （プレゼンテーション力） 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 （担当分野に関する評価）	他分野との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた □ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表（分野別）には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表（分野別）の計画内容には妥当性があった □ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた □ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 （プレゼンテーション力） 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小 計			／ ±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 （途中成果物）に関する評価	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 途中成果物には審査できる最低限の記載（書き込み）があった □ 途中成果物には十分な記載（書き込み）があった □ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった □ 途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 工程に影響を及ぼすような重大なミス（手戻り、差替え）は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった □ 途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された □ 打合せ後に対応（追加資料送付、進行状況連絡等）が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						☐ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた ☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ☐ 業務の各段階で必要な検討がなされていた ☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						☐ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた ☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた ☐ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた ☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						☐ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた ☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた ☐ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた ☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
	小 計			／ ±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
	小 計			／ ±100						
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた □ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した □ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった □ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた □ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた □ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった □ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた □ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小 計			／ ±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する 評価	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった □ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった □ 途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった □ 途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された □ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった
		設計提案等の説明 (プレゼンテーション)		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 説明資料が準備されていた □ 説明資料は、代替案と比較した結果を示すなど、分かり易く適切な内容であった □ 提案の趣旨や内容が理解しうる説明であった □ 提案の趣旨や内容が、その妥当性を含めて容易に理解できる説明であった

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映 (設計提案)	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた ☐ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた ☐ 業務の各段階で必要な検討がなされていた ☐ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
				得 点 率						
		仕様書 基準類の理解		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた ☐ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた ☐ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた ☐ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
				得 点 率						
		施工に関する 一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた ☐ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた ☐ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた ☐ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
				得 点 率						
		創意工夫 積極的な提案								
				評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 発注者の求めに応じて、成果物のレベルを向上させるための提案を行った ☐ 成果物のレベルを向上させるための提案が積極的に行われた ☐ 業務の目的、内容に沿った提案がなされた ☐ 提案内容を採用することによって、成果物のレベルが著しく向上した
				得 点 率						
		専門的な知識、法令等の理解 特定行政庁等との調整								
				評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等を十分に理解していた ☐ 設計提案等に必要となる専門的な知識や法令等が、提案内容に十分活かされていた ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を行った ☐ 特定行政庁等の関係者との調整を円滑かつ適切に行った
				得 点 率						
	小 計			／ ±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
				得 点 率						
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた ☐ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ☐ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた ☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
				得 点 率						
		課題への対応								
		物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
				得 点 率						
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた ☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
				得 点 率						
	小 計			／ ±100						
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務履行当初において、各業務分担に業務を遂行するうえで必要最低限の人員配置がされていた □ 配置された人員は業務を効率的あるいは円滑に遂行出来る能力・人員数が確保されていた □ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者(管理技術者、担当者以外)によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力 (業務全体に関する評価)	業務の全体把握		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の目的及び内容を把握していた □ 業務の目的及び内容に沿った適切な方針を提示した □ 業務の実施状況を把握していた □ 業務の実施状況に応じて、適時に適切な方針を提示した
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表の計画内容には妥当性があった □ 必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ時の発言や提案が積極的になされた □ 業務を統轄した □ 強い責任感を持って、主体的に業務を統轄した
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 業務の実施方針等に対する説明がなされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	主任担当技術者の能力 (担当分野に関する評価)	他分野との調整		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 他の分野との調整はすみやかに行われた □ 他の分野との調整の結果、業務上の対応が図られた □ 他の分野との調整の結果、的確で十分な対応が図られた
		工程管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初提出された業務工程表(分野別)には、契約図書に示された業務内容が漏れなく記載されていた □ 当初提出された業務工程表(分野別)の計画内容には妥当性があった □ 担当分野について必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕をもって実施状況の確認を行える工程管理を行った
		取組姿勢 責任感の強さ		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ等に参加した □ 打合せ等において、発言や提案が積極的になされた □ 担当分野の成果物の取りまとめを行った □ 成果物の取りまとめについて、業務期間を通して、責任を持った一貫した対応がなされていた
		説明力 (プレゼンテーション力) 協調性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 分野別の業務の実施方針等に対する説明がされた □ 説明された実施方針等は、わかりやすく、適切な内容であった □ 発注者の意図を理解する姿勢が見られた □ 発注者の意図を理解し、関係者と協調して業務を履行した
	小 計			／ ±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料 (途中成果物)に関する 評価	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 途中成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 途中成果物には十分な記載(書き込み)があった □ 途中成果物の内容が理解しうる表現であった □ 途中成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		途中成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 工程に影響を及ぼすような重大なミス(手戻り、差替え)は無かった □ ミスは簡易に修正出来る軽微なもののみであった、又はほとんど無かった □ 途中成果物は概ね業務の目的に沿った内容であった □ 途中成果物は発注者の意図が十分反映されていた
	調整及び説明 対応の迅速性	打合せ内容の理解、記録		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せごとに打合せ記録簿が作成された □ 打合せ記録簿は、迅速かつ的確に作成された □ 打合せ後に対応(追加資料送付、進行状況連絡等)が図られた □ 打合せ後の対応は、的確かつ十分に行われた
		指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応がなされた □ 発注者からの指示・協議事項に対して、対応は迅速に行われた □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に沿ったものであった □ 発注者からの指示・協議事項に関する対応の内容は、その意図に十分応えるものであった

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優	得点率 やや	得点率 普通	得点率 やや	得点率 劣	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務の実施状況	与条件の理解 業務への反映	設計与条件の理解 円滑な業務執行 技術的検討		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 当初の与条件を含め、業務の各段階で必要な情報の収集が図られていた □ 与条件等の情報が理解・分析され、業務の履行に活かされていた □ 業務の各段階で必要な検討がなされていた □ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった
		仕様書 基準類の理解		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 工事標準仕様書や各種基準、基本法令等(以下、「標準仕様書等」という。)を概ね理解していた □ 発注者側の指導が必要ないほど、標準仕様書等を十分に理解していた □ 実施方針や検討成果は、標準仕様書等に概ね沿った内容となっていた □ 実施方針や検討成果は、発注者の指導が必要ないほど標準仕様書等を踏まえた内容となっていた
		施工に関する 一般的な知識		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 施工方法、仮設計画等に関する一般的な知識を有していた □ 施工方法、仮設計画等の選択に、上記の知識が活かされていた □ 材料、機器等に関する一般的な知識を有していた □ 材料、機器等の選択に、上記の知識が活かされていた
	小 計			／ ±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった □ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
	小 計			／ ±100						
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

採点表② 課長用

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務実施能力	業務実施体制	実施体制 自主管理		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 契約図書に基づき、実施体制を含む業務計画書等が期限までに提出された □ 提出された実施体制は、業務を適切に遂行できるような構成及び人員配置となっていた □ 業務計画書等に示された実施体制により、業務が履行されていた □ 第三者（管理技術者、担当者以外）によるチェックを行うなど自主的な品質管理の努力がされていた
	管理技術者の能力	管理技術者としての責務		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.75) =2⇒『やや劣』(得点率−0.5) =3⇒『やや劣』(得点率−0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を把握していた □ 業務の目的、内容及び業務の実施状況を踏まえ、適時に適切な業務実施の方針を提示した □ 業務全体について、必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った □ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ業務を統轄した □ 打合せ時などで自ら発言・提案を行い、積極的に配下の担当者を統率するなど、積極的に業務を統轄した □ 発注者に業務上必要な説明を行った □ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた
	主任担当技術者の能力	主任担当技術者の役割		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.75) =2⇒『やや劣』(得点率−0.5) =3⇒『やや劣』(得点率−0.25) =4⇒『普通』(得点率±0) =5⇒『やや優』(得点率0.25) =6⇒『やや優』(得点率0.5) =7⇒『やや優』(得点率0.75) =8⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 担当分野に関して、他の分野との調整を図った □ 担当分野に関して、他の分野との調整が適切に行われ、十分な成果が得られた □ 担当分野について、必要な工程管理を行った □ 発注者が十分な時間的余裕を持って実施状況の確認を行えるような工程管理を行った □ 打合せ等に参加し、状況を把握しつつ担当業務を行った □ 打合せ等などで自ら発言・提案を行うなどして、積極的に業務を行った □ 発注者に業務上必要な説明を行った □ 発注者が理解しやすいよう工夫して説明を行い、関係者と協調して成果をとりまとめた
	小　計			／　±100						
業務の実施状況	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価	業務履行中の説明資料（途中成果物）に関する評価		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 途中成果物は、理解しうる表現で最低限の記載（書き込み）があった □ 途中成果物には十分な記載（書き込み）があり、理解しやすいように表現が工夫されていた □ 工程に影響を及ぼすような重大なミス（手戻り、差替え）は無く、業務目的に沿った内容であった □ ミスはほとんど無く、発注者の意図が十分反映された内容となっていた
	調整及び説明 対応の迅速性	調整及び説明 対応の迅速性		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応がなされた □ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項に関する対応が迅速に行われた □ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に沿ったものであった □ 打合せの結果や、発注者からの指示・協議事項への対応は、発注者の意図に十分応えるものであった
	与条件の理解 業務への反映 （設計提案）	与条件の理解 業務への反映 （設計提案）		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 与条件や必要な項目についての検討がなされた □ 検討の内容は、業務の目的や内容に沿ったもので、発注者の意図に応えるものであった □ 業務を行う上で必要となる基準や法令類や施工方法等に関する知識を有していた □ 上記の知識が、設計内容に十分反映されていた
	小　計			／　±100						
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 成果物には最低限の記載（書き込み）があった □ 成果物には十分な記載（書き込み）があった □ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった □ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた □ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
	課題への対応	物理的条件 社会的条件 要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得点率						□ 設計与条件、要望等に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった □ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた □ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
	小　計			／　±100						
合　計				／　±100						
評定点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

業務履行中に生じた事由による減点		□ なし　0 □ 口頭注意　−3 □ 文書注意　−5 □ 指名停止1ヶ月まで　−10 □ 指名停止が1ヶ月を超える　−15
業務完了後に生じた事由による減点		□ なし　0 □ 瑕疵補修又は損害賠償の実施　−10 □ 故意又は重大な過失により瑕疵補修又は損害賠償の実施−20

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった □ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった □ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた □ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた □ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応									
		物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった □ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった □ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた □ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた ☐ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ☐ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた ☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた ☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応									
		物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた ☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた ☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった □ 成果物には十分な記載(書き込み)があった
										□ 成果物の内容が理解しうる表現であった □ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた □ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった
										□ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた □ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた □ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた
										□ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた □ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応									
		物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
										□ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						□ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた □ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
										□ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた □ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率 優 1.0	やや 0.5	普通 0	やや −0.5	劣 −1.0	得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
				得 点 率						
		資料等の整理 指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1)						☐ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた ☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
				得 点 率						
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	−0.5	−1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		成果物の内容		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 成果物の内容は、妥当なコストで、契約図書に示された所要性能を満たしていた ☐ 成果物の内容は、発注者の意図に照らして、運用コストを含めたコストの最適化や利用上の使い勝手に配慮されたものであった ☐ 成果物の内容は、安全対策、環境施策への対応に配慮されていた ☐ 成果物の内容に、安全対策、環境施策への対応が十分反映されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた ☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
	課題への対応									
		物理的条件 社会的条件		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 敷地条件等の物理的な与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 敷地周辺への配慮、ユニバーサルデザインへの対応等の社会的与条件・制約条件に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった
		要望 コスト		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率−1) =1⇒『やや劣』(得点率−0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 利用者の要望に対する解決方策に創意工夫が見られた ☐ 採用された創意工夫は、発注者の意図に照らして、合理的でレベルの高いものであった ☐ 工事費について、バランスのとれたコスト配分がなされていた ☐ 事業予算に対して、費用対効果の増大が図られた
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						

評価項目		評価の視点	配点	得点率					得点	評価細目 ※各評価細目は、2細目ずつの組合せとなっており、下段をチェックする場合は上段もチェックする必要がある。
				優	やや	普通	やや	劣		
				1.0	0.5	0	-0.5	-1.0		
業務目的の達成度	業務目的の達成度	記載の程度		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 成果物には審査できる最低限の記載(書き込み)があった ☐ 成果物には十分な記載(書き込み)があった ☐ 成果物の内容が理解しうる表現であった ☐ 成果物の内容が理解しやすいように表現が工夫されていた
		資料等の整理 指示、協議事項への対応		評価細目チェック数 =0⇒『劣』(得点率-1) =1⇒『やや劣』(得点率-0.5) =2⇒『普通』(得点率±0) =3⇒『やや優』(得点率0.5) =4⇒『優』(得点率1) 得 点 率						☐ 打合せ記録簿等の必要な書類が揃っていた ☐ 打合せ記録簿等の内容は理解しやすいよう表現が工夫されていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応が図られていた ☐ 発注者からの指示・協議事項に対する対応は迅速で、内容は的確なものであった
合 計				／ ±100						
評 定 点				／ × 35 ＋ 65 ＝						